

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 多賀の里

(ユニット名) 式丁目

記入者(管理者) 管理者:目見田 恵子

氏名 記入者:高橋 美幸

評価完了日 平成 20 年 10月 31日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>「利用者が穏やかに生き生きと社会生活が営めるよう」事業所の理念を作っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「利用者が穏やかに生き生きと社会生活が営めるよう」事業所の理念を掲げておられる。</p>		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>理念は職員の名札の裏に記載し、自分自身が確認したり、食堂兼居間等に掲示しユニット会時理念についてはなしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>理念は名札の裏に示し、日々の業務やユニット会等でも話し合い、日々実践に取り組まれている。</p>		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>理念は室内に貼り、家族の人たちには理解してもらえるよう面会や行事の時など話している。地域の人たちにも地域推進会議や行事に話している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 普段から挨拶など声を掛け合うことで気軽に立ち寄ってもらえるよう努めている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の一員として、地域の祭りへの参加や施設での行事を助けてもらったりと交流に努めている。婦人会の方と料理を共に作ったり、地域にある畑で遊ばしてもらったり交流も増えている。小、中、高などともなどに交流などに努めている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 近所の独居の方にお世話を届けたり、地域のお祭りでは事業所として何か役立てる事はないか話し合っている。		事業所は、「地域との共生」に力を入れて取り組んでおられ、さらに今後も地域に出かけることをすすめ、地域の方達に向けて、介護の知識や技術の講習にも、取り組んでいきたいと考えておられた。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価意義を理解し、改善すべきところなどその時点で改善に取り組んでいる。		
			(外部評価) 自己評価は、各ユニット会時に職員で取り組み、ユニットリーダーがまとめられた。前回の評価結果を受けて、トイレにカーテンを取り付けられたり、利用者の身体機能の維持向上にも力を入れて取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議ではサービス向上のため、様々な話し合いをしている。地域の方より「レンゲ畑作ったけん、遊びにおいで」と招いてくれたりと、たくさんの意見をいただいている。		
			(外部評価)		
			会議では、利用者の日常の様子を写真等で、わかりやすく説明された。出席者が、地域の方達に声をかけてくださり、事業所と地域の人とのつながりの輪がさらに広がってきている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			行政には色々なことで普段から関わりを持ち、相談やお願いをし、質の向上を図っている。		
			(外部評価)		
			介護相談員を受け入れておられる。市主催のサービス向上連絡会議に参加し、意見交換をされている。市の担当者に、成年後見制度等についての相談等もされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			管理者や一部の職員は理解しているが、まだ不十分である。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員一人一人が自覚し、業務にあたっている。又、ユニット会でも虐待について話し合ったり、職員同士で目配りしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所時に納得いくまで説明している。又入所してからも家族様からの疑問、不安等、その都度分かりやすく説明し、理解していただいている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 自分の意見、不満が言える方は日頃より言ってもらっている。又、訪問してくれている相談員にも言える機会を設けている。何かあったときにはその日のうちに管理者、職員に伝え、反映させている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎日、生活報告書を作成し、郵送している。又、急を要する場合はその都度対応している。		
			(外部評価) 利用者の日々の暮らしぶり等、ご家族の来訪時に報告され、又、毎月ご家族に送付する「日常生活報告書」に写真を添えて報告されている。		今後、年4回事業所便りを発行する予定となっていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 定期的に家族会を開いたり、来所時などに希望や心配事など聞いている。又、行政に苦情相談所があることもきちんと説明している。		
			(外部評価) ご家族来訪時や事業所の夏祭りの際には、ご家族同士も交流されている。家族会時には「重度化した場合でも見てくれるのか」「付き添いはしなくてもいいのか」等の質問も出され、事業所は丁寧に答えられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ユニット会、リーダー会、全体会以外にもいつでの意見や提案をすることができる環境である。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員は普段よりユニット間の行き来をし、利用者との関わりを持ち、ダメージを最小限に抑える努力をしている。		
			(外部評価) 新しい職員が入るような時には、「ユニットごとの均一化を図る」ため、職員がユニット間で異動する事もある。日頃から、全ユニットの職員間で情報を共有し、利用者へのダメージを抑えられるよう努めておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修や講習など順次行っている。		
			(外部評価) 法人内研修に参加されている。外部研修は、職員が希望する研修を受けられるようになってきているが、時間のこともあり、外部の研修を受講することがむづかしいような職員もある。管理者は、職員個々の段階に応じ、指名して受講をすすめることもある。		管理者は、今後、外部研修で得た情報を内部研修の際に、皆で共有できるよう、仕組みを作っていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			広報やイベント時チラシを配ったり、声賭などをし、交流を図っている。又日々の過ごし方、サービス提供の仕方など見学させていただくこともあるが、すべての職員がしているとはいえない。		
			(外部評価)		
			法人内の事業所や市内の他グループホームと行事時等に交流されている。他グループホームからの実習も受け入れておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			忘年会や親睦会などを行っているが、それが職員のストレスを軽減しているとは言えない。		職員不足も一つのストレスの要因になっている為、きちんと職員を入れてほしい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修や講習を受けたい希望者は受講できるよう勤務変更などしている。また希望者には海外研修も順次行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			自分の意志を伝えることが出来る方はきちんと聴き、対応している。伝えられない方は行動や表情でしか対応することしかできない。		意志など伝えることが出来ない方も出来るだけマンツーマンで過ごせる時間を持ち、本当に求めていることを感じ、受け止めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談から利用に至るまで家族様の話を聞き、受け止める努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、利用者にとって何が必要な支援なのか考え、対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう努めている。利用者によっては、入所前に何回か見学に来、少しずつ過ごす時間を増やしたりと工夫している。		
			(外部評価) 入居間もない頃は、ご家族に頻繁に来訪いただけるよう声をかけておられる。職員は、ご本人に寄り添い、声かけも多く持つようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 介護されるだけでなく、利用者に教えてもらう機会も多い。一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にしている。		
			(外部評価) 利用者同士と一緒に洗濯し、干したり取り入れたりする方もおられる。裁縫の得意な方は、職員のボタン付けをしてくださることもある。調査訪問時、昼食を食べずに台所で片づけをされている職員の方に利用者が「一緒に食事しましょうや。はよう(早く)おいで」と声をかけておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族様に日常生活の様子や会話などを話し、共有している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族との関係を理解し、良い関係が築いていけるよう面会時や日々の関わりの中で努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人や家族様から知り得た情報を元に、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、近くをドライブした時には立ち寄ったりと支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 家事や散歩など日常生活をともに行えるよう声を掛け、関わりあえるよう機会作りをしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 継続的な関わりを必要とすれば、関係を断ち切らず相談など受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人の意志を尊重し、支援している。		
			(外部評価)		
			日々の関わりの中から、ご本人の希望や意向の把握に努めておられる。事業所では、生活記録の充実を図り、夜間は、1時間毎に利用者の様子を記録されている。急変した時の流れや、病院・ご家族への説明もしやすくなったと話しておられた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			日々の関わりの中で本人や家族様に話を聞き、情報収集している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			総合的に把握できるようアセスメントシートを作成し、職員同士が情報を共有している。有する力は十分把握できてはいないが、把握できるように努めている。		これからも利用者に機会を与え、何が出来るか有する力を把握していく。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人にはどのような生活がしたいか聞き、家族様や職員でより良く暮らすための話し合いをし、介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画を立てる時には、これまでの計画を見てもらいながら、ご家族と今後の支援内容について相談されている。又、ユニット会等でも話し合いされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				3ヶ月に一度見直しとともに、変化が生じたときにはその都度見直し、介護計画を作成している。	
			(外部評価)		
					計画は、3ヶ月に1度、見直しされている。状態変化時等は、その都度見直しされている。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				日々の状況を記入し、情報を共有し、介護計画を作成している。	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				利用者入院時、空居室を利用し、地域の介護を必要とする高齢者の受け入れをしている。	
			(外部評価)		
					事業所では、共用でデイサービス・ショートステイの受け入れをされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 本人の意向や必要性があれば、協力しながら支援している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性があれば、他のサービスを利用するための支援をしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じ、協働している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人が希望する主治医の適切な医療を受けられるように週1回の往診やその都度受診し、支援している。 (外部評価) 利用者個々にかかりつけ医があり、往診もしてくれるようになっている。受診時は、ご家族や職員が同行されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 常勤している看護師が日々の利用者の状況を把握し、健康管理や医療活用の支援をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 主治医や協力病院と連携し行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 「どのように終末期を送りたいのか」ということについて、定期的に利用者と家族様と話し合い、意志を確認している。病状が悪化したときには、主治医も含め、話し合っている。 (外部評価) 事業所では「重度化対応・終末期ケア対応指針」を定め、ご家族に、急変時の対応についての希望も聞いておられる。状態変化時には医師・ご家族と話し合い、支援のあり方や体制について話し合いがなされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ターミナルを迎えた利用者について日々をより良く暮らせるために、主治医と共にチームとして支援に取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 事前に家族様や本人に関わるケア関係者で情報交換をし、ダメージを少しでも防げるよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報 の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>言葉かけが十分でない事がある。</p>		<p>排泄の声かけが大きかったりと職員一人ひとりが再度考える必要がある。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>調査訪問時、職員は、利用者に対してやさしく接しておられた。</p> <p>職員は、「不適切な言葉かけをしたり、声かけが不十分であったりする時があるのではないか」と日々を振り返っておられた。ケアの現場で感じておられることをもとに、「一人ひとりの尊重」という観点から、全職員で話し合う機会とされてはどうか。貴事業所のさらなるケアの質向上に向け、取り組みを重ねていかれてほしい。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人が分かるような言葉や動作で説明し、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員側の都合で接している事がある。</p>		<p>これからも利用者がどうしたいのかを考えたケアの徹底を図る。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>お友達のお宅を訪ねたり、お花の植え替えをされたり、ご本人のその日の希望をうかがいながら支援されている。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容・美容については、本人の望む店に行っている。洋服については出来るだけ本人に選んでもらっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとり出来る事をし、一緒に食事作りや片づけを行っている。出来にくい利用者に対しても献立作りや買物など出来る事をしてもらっている。 (外部評価) ユニット毎に職員が献立を立てておられる。利用者の力量に合わせて、準備や片付け等、職員と一緒にされている。外食時にはメニューを見ながら、好きなものを選んでもらえるよう支援されている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お酒やタバコを呑む方は居られないが、飲み物やおやつ等本人の好むものが楽しめるよう支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 出来るだけトイレで排泄できるよう、一人ひとりの排泄パターンに合わせて支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴は毎日出来、一人ひとりのタイミングに合わせて、楽しめるように支援している。		
			(外部評価)		
			毎日入浴できるようになっている。長めのお風呂を楽しむ方もおられる。むくみや血流の悪い方には、医師の意見も伺いながら、足湯や足のオイルマッサージをされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			睡眠時間は状況により異なる。できるだけ安眠できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人一人に何かしらの役割があり、それがカーテンを閉めることだったり、食器洗いをする事だったりする。利用者からしたいと発案された内職もその一つで、自分たちで稼いだお金での外食や外出などを楽しんでいる。		
			(外部評価)		
			畑で野菜作りやお花の手入れ・草引き等をされたり、縫い物の得意な方は、ひ孫さんの洋服を縫ったりされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			希望や力に応じて、お金を所持している。お金を持っているということで安心する方もおられ、実際そのお金を使用することはない。		自分の所持しているお金を使用したいとの希望があれば、行っていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の体調や希望に応じて、散歩や買い物など外へ出かけられるよう支援している。		
			(外部評価)		
			日々の散歩や買い物・ドライブの他、地域行事には積極的に参加されている。外出を希望される時には、その都度支援できるよう努めておられる。時に、職員の都合がどうしてもつかないような時には、ご家族の協力をお願いすることもある。		職員は、個々の行きたいところへの支援や、一泊旅行にも出かけたいと話しておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			普段行けない場所にもできるだけ出かけられるよう対応している。家族と共に過ごす時間が少ない利用者については、クリスマス会など機会作りをしている。		家族様と共にドライブに行くことはなく、これからも機会作りを続ける。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			自分で電話することは難しいが、かかってくれば話すことは出来る。年賀ハガキは本人の出来ることをし、家族様に出せるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも気軽に訪問できるよう心がけているが、馴染みの人たちが自分たちでお茶を入れたりとする空間がない。		認知症のため、ユニット内に物を置くことが難しい。踊り場に、馴染みの人と気軽にお茶の飲みながら過ごせる空間を作りたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアをグループホーム全体で取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 見守りも行うことで鍵をかけないケアを行っている。 (外部評価) 職員の見守りと声かけで、日中玄関に鍵をかけない暮らしを实践されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員同士声を掛け合い、見守りしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人一人の状態に応じて、取り組んでいる。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の状態に応じた対応をしている。事故やヒヤットすることがあればメモに残し、職員みんなで今後の対策を考え、事故防止に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時対応マニュアルを作成している。個々に応急手当や初期対応については講習を受けているが、全ての職員が受けていない。		全ての職員が対応できるように、勉強会をしていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 一階に車椅子の利用者を移動した事で避難しやすくなった。災害時には地域の方にも助けてもらえるようお願いしている。		これからも災害に備え、避難訓練を行っていく。
			(外部評価) 車椅子を使用される方の避難方法を検討した結果、1階ユニットに移動いただいた例もある。出入口の階段をスロープにされた。地域の防災訓練には、職員が参加されている。避難後の見守りを近所の方が協力してくれるようになっている。		事業所では「防災計画」を立てておられ、災害時、避難した利用者の見守りを地域の方にも、お願いしたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 起こりうるリスクについて家族様に説明し、抑圧感のない生活を出来るだけ送ってもらえるよう話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調変化があれば、看護師に報告し、職員同士が情報を共有し、対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) いつでも確認できるように処方箋をファイルし、職員は理解している。薬の変更時には看護師により説明があり、日々の服薬の支援と症状観察を行い、看護師に報告している。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 日々の水分摂取量に注意し、便秘傾向の利用者にはセンナ茶を使用している。散歩や体操など身体を動かすことで排便につなげている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後に一人一人の口腔状態や力に応じた支援を行っている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 食欲のない利用者には本人の好むメニューに変えたり、少しでも栄養が取れるよう支援している。1日の水分量が少ない利用者にはコーヒーなど好む物にしたり、食事の際にお汁を出したりしている。声掛けにも工夫している。</p>		
			<p>(外部評価) 事業所では、一日1リットルを目標に水分補給できるよう支援されており、お茶を飲まれない方には、好みのジュース等もすすめておられる。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 日々塩素系の洗剤を使用し、椅子や手すりなどを消毒している。またうがいや手洗いを徹底している。マニュアルもある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食材は新鮮な物を購入し、早めに調理している。台所、調理用具などはこまめに掃除し、消毒している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>庭には畑や花畑がある。門はいつも開放している。安心して出入りできるように、手すりやスロープ、エレベーターなど器具が付いている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が混乱するため、あまり物は置けないが、季節を感じられるよう花を飾ったり、混乱のない程度にディスプレイもしている。光の入りにくい場所では電気をつけ対応している。カーテンについては利用者が開け閉めし、光の調整をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>庭や畑の手入れは、こまめにされており、利用者がくつろげるようなスペースも設けておられた。玄関には、高校生手作りの囲炉裏があり、利用者や来訪者の交流の場になっている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人一人が思い思いに過ごしている。</p>		<p>和室があるものの上手く活用できていない。リビングで過ごしている方が多いもソファがないため、ソファがあればと考える。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			居室は本人の使い慣れた物を出来るだけ持ってきてもらい、使用している。仏壇やテレビを持ってきている利用者をおり、落ち着いて過ごせるよう工夫している。		
			(外部評価)		
			趣味の鉢植えを居室で育てたり、鏡台やテレビ・ご家族の写真等も飾られている。毎朝、職員と仏壇にご飯をお供えしている方もいる。床にマットを敷いたシンプルな居室もみられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気はこまめに行い、利用者の状況に応じ温度調節を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			安全かつ出来るだけ自立した生活が送れるよう利用者の身体機能に合わせた環境を作っている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			物をあまり置かないようにし、なるべく混乱のないようにしている。居室の引き戸が全て同じのため、表札をつけ自室を分かりやすくしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑や花壇があり、収穫や花を花瓶に生けたりして楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者本意のケアを心がけている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	常に共に過ごしている。利用者のペースでゆったりと過ごす時間がある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人一人の生活のリズムを把握し、対応しようと心がけている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の体調や職員の対応がわるいとそうでないことがある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来るだけ行きたいところに出かけられるよう支援しているが、病院受診などによりスタッフが少ない状態になると難しい事がある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	健康管理や医療面、安全面で全ての不安を取り除くというのは難しいが、なるべく不安なく過ごせるように支援している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の状況に応じた支援を行っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	職員は面会時に困っていること、不安なこと、求めていることを聞こうと努めているが、本心は分からない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	時折、近所の方や馴染みの人が訪ねてこられる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	餅つきや多賀でのお祭りを手伝ってもらったりとつながりが深まっている。多賀地区の施設としてより良い施設になるよう協力してくれている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	職員のほとんどがやりがいを持って働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	サービスに満足してもらえよう日々支援しているが、まだまだ利用者にとってのより良いサービスが出来るのではないかなと思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	満足できるようなサービスを心がけている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者が日々生き甲斐のある生活を送れるよう支援している。職員がしてしまうのではなく、少しでも利用者の出来ることを見つけ、職員が感謝することで利用者が自信を持った楽しい日々を送ってもらっている。内職もその一つで、認知症があっても、社会の一員としてお金を稼ぐことが出来るという喜びを感じてもらっている。